

【議案】財産の取得について

小学校のパソコン教室を整備することに伴い、サーバー9台、教師用パソコン9台、児童用パソコン225台、ディスプレイ252台、カラーレーザープリンター9台他周辺機器が設置されます。

【議案】財産の取得について

小学校及び中学校に電子黒板を整備することに伴い、ディスプレイ一体型電子黒板、電子黒板制御用ノートパソコン、書画カメラ機能付きデジタルカメラがそれぞれ78台設置されます。対象となる学校は、御厨、星鹿、青島、志佐及び上志佐の小学校と御厨、志佐の中学校です。

産業経済委員会

【議案】松浦市定住促進住宅条例の一部改正について

福島教職員住宅を定住促進住宅に編入することに伴い、条例の一部が改正されました。これは数年間空き家状態であった教職員住宅について、今年4月の養源小学校の廃校を機に定住促進住宅として活用するものです。

【議案】平成28年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

産地パワーアップ事業補助金として3千212万3千円が計上されました。これは産地パワーアップ事業の追加割当に伴うもので、J A アスパラガス選別機及び計量結束機の購入、アスパラガス部会点滴灌水設備の整備、お茶部会防霜施設設備の整備と被覆資材及び製茶機の購入、しきみ組合冷蔵庫と防除機の購入に対して補助が行われます。

観光施設誘客緊急対策業務委託料として1千26万円が計上されました。これは4月の熊本地震以降、観光客が激減したための対策として、福岡県のメディアとタイアップし、バスツアープランやマイカープランが企画されます。

【認定】平成27年度松浦市水道事業
・工業用水道事業・下水道事業
の決算認定について

三件の公営企業会計の決算について、決算審査意見書(下段参照)を参考に、経営状況等決算内容全般にわたり慎重審査を行いました。その結果、適正と認め認定すべきものと決定いたしました。

平成27年度松浦市公営企業会計決算審査意見(抜粋)

水道事業会計

当年度末の給水戸数は6千893戸、給水人口は1万5千626であり、総人口に対して65・4%の普及率となっている。簡易水道等の給水人口8千226人と普及率34・4%を加えると、市全体の総給水人口は2万3千852人、総普及率は99・8%となっている。水道事業に関しては、国における簡易水道に係る国庫補助制度の見直しが行われ、補助事業対象者の基準が厳格化された。これにより松浦市では平成30年4月1日に簡易水道事業と水道事業の経営統合を目指すため平成28年度から29年度までの2か年において資産調査が実施されている。遅延なく統合事務を進められたい。また、今後の水道事業を展望すると、既存施設の維持管理や配水管の老朽化、耐震化への対応に多額の資金が必要となることが見込まれる。

これらを踏まえ、今後の事業経営にあたっては、有収率の向上と諸経費の節減、収納対策の推進を行うと共に、安全で良質かつ廉価な水の安定供給、お客様サービスの充実を図り、なお一層の市民福祉の増進に寄与されることを望む。

工業用水道事業会計

平成27年度の責任使用水量制に基づく総給水量は、基本使用水量450万1千800m³となっている。事業収益は3億8千93万円、事業費用は3億4千332万円で、当年度の純利益は差引3千760万円となっている。今後も工業用水の安定供給を図り、効率的運営と経営の健全化に努められ、給水体制に遺漏の無いよう一層の努力を望む。

下水道事業会計

本年度末における供用開始区域面積は173・5ha、供用開始人口は5千10人となっており、排水設備設置戸数は一般世帯と店舗等で1千393戸、年間総有収排水量は30万5千884m³となっている。事業収益は2億1千385万円、事業費用は2億9千436万円で、当年度の純損失は8千51万円となっている。今後とも接続率向上に向けた取り組みが必要であり、生活環境の改善、周辺海域及び河川の水質保全という本来の目的に沿った計画的な下水道事業の整備を望む。